

福島の明日を切り拓く

新型コロナウイルスの影響で県内の飲食業や宿泊業は深刻な打撃を受けています。自民党議員会は県に対し、公式・非公式の要望活動を幾度も実施し、県新型コロナウイルス感染症拡大防止給付金や同感染症対策支援交付金の創設、飲食店応援前払利用券発行支援

事業の実施などにつなぎました。観光・宿事業者を支援するため、県観光周遊宿泊支援策事業では、税抜7000円以上の宿泊対象として5000円1泊の割引を行う事を11万5000泊分造り起こしを図りました。

コロナ対策県要望

今夏は福島市や伊達市、伊達郡を中心に「モチせん孔細菌病」の被害が深刻化しました。近年の温暖化や昨秋の令和元年東日本台風、今夏の日照不足などの影響であり、

自民党議員会は県北地
方で現地調査を実施し
た上で、JA福島中央会
などの要望も踏まえ、内
堀知事に対し会派として
の要望書を提出しまし
た。県は同細菌病対策と



モモせん孔細菌病

9月補正予算確保

自民党議員会NEWS

令和2年11月発行

フラッシュニュース

「発酵ツーリズム」をスタート

A group of approximately ten men in dark suits and white shirts are standing on a red carpet, participating in a ribbon-cutting ceremony. They are holding long red ribbons with white bows. The background features a large banner with Japanese text: '祝 福島ロボットテストフィールド開所式' (Celebration of the Grand Opening of the Fukushima Robot Test Field). The setting appears to be an indoor sports hall or arena.

福島ロボテス開所

**伊達桑折IC
桑折JCT開通**

して、9月補正予算に1億4450万円を計上。防風ネット設置についての補助率をかさ上げしたほか、改植については国の17万円の定額（10アール当たり）に11万3000円を上乗せしました。

算確保

仙菊芮

島イノベーション・コート構想に基づき、今年3月に供用開始した「福島ロボットテスト・フレーム」の開所式は、3月12日に南相馬市原町区の同フレームで行われました。同日の午後では、内堀雅雄知事や太田光秋県議会議長ら

がテープカットし、世界に類を見ないロボットや小型無人機（ドローン）などの一大研究拠点の誕生を祝いました。同コマールドは福島イノベーションの中核施設で、総工費は約156億円。現在、21の企業や団体が研究棟内に研究室を構えています。

新型コロナウイルスでの不自由な生活を強いられている今
感染防止や経済活動を牽引できるよう推し進めます。



商労文教委員会 副委員長
佐々木 彰
伊達市霊山町掛田字西裏52-2
TEL.024-586-1038
FAX.024-586-1046

自由民主党福島県議会議員会 総務会長
西山 尚利
福島市土湯温泉町字杉ノ下25
TEL.024-529-7836
FAX.024-529-7837

福島県議会議員会議長
太田 光秋
南相馬市原町区東町3-41
TEL.0244-25-0321
FAX.0244-24-4890

企画環境委員会 委員長
佐藤 雅裕
福島市荒町5-34
TEL.024-521-2556
FAX.024-522-5959

農林水産委員会 委員
渡邊 哲也
福島市瀬上町字行人堂1-3
オフィスオバラ1-A
TEL.080-2839-0109
FAX.021-561-1207

ふくしま自民党11の約束



① 新型コロナウイルス感染症対策 を強化します

- 検査機関・医療機関における検査体制の拡大強化と医療用物資の確保など医療提供体制の整備
- 地域外への設置促進と効率的な医療提供体制の構築、今後の感染拡大を想定した病床・療養施設の確保と受け入れ体制の強化
- 新しい生活様式の定着に向けた取組への支援と正確な情報発信の強化
- 経済的影響を受けた事業者への経営支援の強化と県産品の消費拡大や販売促進の取組強化
- テレワーク・リモートワークの拡大を踏まえた移住・定住の取組強化
- 児童生徒1人1台端末の早期実現とICTを活用した学習環境の整備促進



② ふくしまならではの 地方創生を 進めます

- サービス業等の人手不足や介護・育児等の現役世代を支える分野における高齢者の就業促進
- 県内外の大学生等に対するふるさとで働くことの魅力発信と県内産業の人材確保・定着の推進
- 交流人口・関係人口の拡大と移住者等の受け入れ体制の強化
- 短期間の就労体験や地元住民とのふれあいを通じた将来的な移住・定住人口の増加に向けた取組強化
- 福島大学食農学類の開設を契機とした地域の核となる農業者等による地方創生の取組推進



避難地域の 復興加速化と 被災者の生活再建を支援します

- 東京2020オリパラ大会野球・ソフトボール競技開催を契機とした風評払拭と地域活性化につながる関連事業の推進
- 広域的な物流や地域医療・産業を支えるふくしま復興再生道路の整備促進
- 避難地域12市町村における復興拠点づくりへの支援強化
- 被災した中小企業・小規模事業者の事業再開等の支援強化
- 二次救急医療をはじめとした双葉地域に必要な医療の確保

④ ふくしまの 環境回復を 実現します

- 市町村が実施する除去土壌の適正保管・搬出と放射線量低減活動等への支援強化
- 除去土壌等の県外最終処分の確実な実施
- 県内原発の全基廃炉の早期実現
- 廃炉に関する知見の集積と本県の現状の情報発信力の強化
- イノシシなど野生動物による人的被害・農林業被害に対する総合的な対策の強化



⑤ 子育て・健康・医療・福祉の 充実と人口減少を 克服します

- 福島県子どもを虐待から守る条例の推進と児童虐待の根絶に向け関係機関と連携した積極的な取組強化
- 女性活躍に関する、働き方改革等取組の促進
- 障がいのある人も含む暮らしやすい福島県づくり条例の推進とヘルプマークの普及
- 18歳以下の医療費無料化の継続
- 健康長寿のための事業促進と地域・職域における効果的な保健事業の支援強化
- 福祉・看護人材不足の解消に向け、職場内研修の強化、新規採用職員への支援等様々な事業の総合的な展開



⑥ 教育環境と 次代を担う人づくりの 充実を図ります

- 新学習指導要領に基づく教育内容の充実と小学校英語の教科化に対応する英語指導力の向上
- 子どもたちの自然体験・社会体験活動への支援強化と防災・放射線教育の推進
- 老朽化した県立高校・特別支援学校の校舎等の大規模改修等子どもたちが安心して学べる学習環境の整備
- 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成
- 子どもたちの体力の向上と肥満傾向児の出現率低下に向けた取組の推進
- 「ふくしま学力調査」による児童一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進



⑦ 農林水産業を力強く再生します

- 東京オリパラへの食材供給を通じた福島県産品の信頼回復
- 本格操業への支援とGAP・水産エコラベル等の取得支援と販路拡大
- 県産加工食品の安全性の確保と県内食品等事業者への「ふくしまHACCP」の導入推進
- 豊富な森林資源を活用した冬期間の生産体系の確立と高齢化・担い手等山間地域の課題解消に向けた取組の強化
- 福島大学食農学類と連携した本県農林水産業の再生及び成長産業化にむけた取組の推進
- 水田フル活用予算の恒久的確保による米価安定の実現
- 市町村を越えた広域的な高付加価値産地の形成による営農再開の加速化



⑧ 商工業の足腰を強化し 雇用を創出します

- 地域を支える中小企業・小規模事業者の事業承継の課題解決に向けた取組の強化と人材の確保
- 県内企業と会津大学等との連携によるICTを活用した生産効率化システムの開発・技術導入など、先端ICT関連産業の集積
- 県内に新たな企業が生まれ着実に成長していく総合的な創業支援の強化
- 県産品振興戦略に基づく県産品の情報発信と販路拡大
- 県産品の積極的な輸出拡大
- 日本一の県産日本酒の発信強化



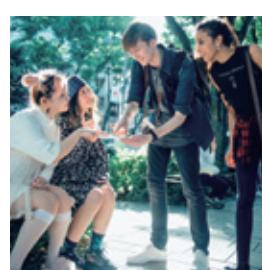
⑨ 新産業の創出・集積で ふくしまの復興を牽引します

- 国、市町村、大学・研究機関、企業等の連携強化による福島イノベーション・コースト構想の推進
- AI・IoT技術を活用できる人材育成と技術の利用促進
- 医療機器開発から事業化まで企業の状況に応じた適切な支援による更なる医療関連産業の集積
- 地域と共生する再生可能エネルギー事業の立ち上げ支援と家庭や地域における導入促進
- 水素社会実現のモデル構築に向け、県内における水素ステーションの導入と燃料電池自動車の導入推進



⑩ 観光振興と 風評・風化対策 を強化します

- ウズコロナを踏まえたワーケーション・発酵ツーリズム等新しい観光の推進
- テーマ別観光周遊企画の展開など本県観光の本格的な復興に向けた取組の強化
- 地域活性化に向けた体験コンテンツの充実及び人材育成など受け入れ体制の整備
- 福島の観光地でしか味わえない食の磨き上げや旅行商品の造成など、食と観光を融合した誘客策の展開
- 福島空港定期路線の再開・拡充と空港のにぎわい創出やビジネス利用拡大等の各種事業の展開
- JR只見線の全線復旧を見据えた地域振興の促進



⑪ 令和元年東日本台風からの復旧と県土の強靭化・ 防災力の向上を図ります

- 浜通りと中通り・会津との東西の広域ネットワークの強化
- 地域連絡道路等の整備による災害に強い道路ネットワーク構築の実現
- 防災対応体制の強化と災害時健康危機管理支援チームの設置など大規模災害に対応できる体制の整備
- ロボットテストフィールドを活用した消防訓練など県内各消防本部の消防力の向上
- 大規模停電などあらゆる事象を想定した危機管理訓練の実施
- 福島県緊急水災害対策プロジェクト・阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの推進
- 感染症防止の観点を取り入れた避難所運営に対する支援の強化

